

<自主的努力項目記入書式>

提携先	聖酒造(株)	記入日	2010/9/30
登録消費材名	米だけで仕込んだ料理酒 入駒、本醸造 入駒、純米酒 入駒、特別純米酒 入駒、純米原酒 入駒、純米本生原酒 入駒、純米生貯蔵酒 入駒		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

- ・日本酒は生活にゆとりと潤いをもたらすという観点から、原材料や「造り手」の側で顔の見える製品を目指してきた。
- ・「安心、安全」な消費材を供給する為にも、より高品質で妥協のない酒造りを心がけている。
- ・酒造技術の向上とすべての製品の「レベルアップ」の為に、全国新酒鑑評会での金賞受賞を目指す。
- ・自社製品の管理については、蔵内での徹底管理はもちろんのこと、市場に出荷後も管理出来る様な品質管理に努力した。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

- ・徹底した製品管理、品質管理を弊社グループの生産本部、研究開発本部の指導のもとに行った。
- ・飲まれる方はもちろん、弊社商品の取り扱いのある得意先に利益をもたらす商品づくりを行った(商品特性、流通面、取り扱い限定商品など)
- ・梅酒の製造も戦前からおこなっているが、大坂で行われた全国梅酒大会において2位を受賞した。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

- ・全国新酒鑑評会の金賞受賞の継続。
- ・有機栽培や新しい品種の種子などの原料米の特質を活かした酒造り
- ・社員教育を充実させ、衛生管理、品質管理、出荷管理の徹底と向上
- ・消費材基準の「推奨レベル」における未達成項目を達成する。